

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

長崎のすて木な家

グループの名称

長崎すて木な家づくりの会

直近採択グループ番号

04-0106-0732

(グループ代表者)

代表者名

山田 守

代表者印

代表者所属先

有限会社四季工房

代表者所在地

長崎県西彼杵郡長与町高田郷3737-1

代表者電話番号

095-887-5855

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社クロダ

事務局担当者名

川口 良一

印

事務局郵便番号

854-0081

事務局所在地

長崎県諫早市栄田町20番31号

事務局電話番号

0957-26-5114

事務局FAX

0957-26-9568

事務局担当者E-mail

kawaguchi@kuroda-co.com



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		60	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	60	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	6	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		10	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
申請が未確定(上限100万円)			戸				
加算申請		上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		15	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	15	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		5	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	申請が未確定(上限165万円)		5	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	1棟	/			
			160㎡				
		申請が未確定	2棟				
			500㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	採択が決定した時点で、会員の中で受注又は確実な物件に配分する。且つ、未経験工務店の会員に優先的に配分する。また、会員の受注棟数が採択棟数を越えた場合は、会の役員・事務局が中心となり配分を調整する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	27戸	交付申請戸数	26戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	26戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	3戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡	



















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長崎のすて木な家	(地域型住宅供給対象地域) 長崎県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 長崎すて木な家づくりの会	(結成年) 2010年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0106-0732	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・長崎県の夏は、梅雨期を含め温暖多湿で高齢者にとって非常に厳しい環境である。そのために夏場の暑さ対策、熱中症対策として断熱性能を重視する。(平成25年省エネ基準をクリアした施工をする。) ・長崎県は、イエシロアリ・ヤマトシロアリの被害が多い地域であり、シロアリ被害から住宅を守る耐久性を重視する>	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・住宅をシロアリの被害から守るため、長期に亘り効果が持続するホウ酸防腐防蟻処理を実施する。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・夏の暑さ対策として、通風・遮熱に配慮した設計仕様書及び風配図を作成する。	○
④①～③の背景	・長崎県地域の気候は、温暖で寒暖差は小さいのが特徴です。しかし梅雨時期を含め夏は温暖多湿で高齢者にとって住まにくい環境であり、熱中症対策(断熱性能)・通風・遮熱を考慮した設計が必要です。 ・長崎県は、イエシロアリ・ヤマトシロアリの被害が多い地域であり、シロアリ被害から住宅を守る対策も合わせて考えなければならない。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・事務局が中心となり、施工構成員を対象に勉強会を実施する。 1、耐震性能向上の勉強会 2、構造躯体の劣化対策の勉強会 3、ゼロエネルギー住宅(ZEH)及びBELS制度の勉強会	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材の一部は、規格寸法を設定しプレカット工場に在庫している。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 省エネ機器メーカーの選定を行いコスト削減を行っている。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材については、標準仕様で原木産地・樹種・寸法等を決定している。	○
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 流通構成員が作成した、建材・資材リストを施工構成員に到達し、標準仕様の決定に役立っている。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 流通構成員が物件情報と標準仕様をもとに行う。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内に施工部会を設置し生産性の合理化を検討する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局は、各構成員と連携し国の施策情報・メーカー等の新商品情報の勉強会を行う。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループが建てる住宅は、劣化対策等級2相当以上とする。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: インспекションを行う担当者は、既存住宅状況検査技術者の資格者が行う。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 消費者に分かりやすい見積書の表現方法をルール化し運用する。(メーカー・品番・定価等で表示できるものは表示する。)	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループの共通ルールで建てた住宅を、構造見学会及び完成見学会で消費者に見てもらふ事と、未経験構成員に対しても見学会を利用して勉強会を実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・サッシ、断熱材のメーカー様に協力してもらい、施工構成員を対象に新商品勉強会及び専門技術講習会を実施する。(年2回程度)	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長崎のすて木な家	(地域型住宅供給対象地域) 長崎県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 長崎すて木な家づくりの会	(結成年) 2010 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0106-0732	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	・グループの施工構成員が建てる住宅は、住宅履歴情報を住宅履歴情報システムに蓄積する。	
①	住宅履歴情報の蓄積	○
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・会員は指定された住宅履歴情報システムに登録する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・長崎ハウネットに履歴情報を登録し、点検時期の情報発信サービスを活用する。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・ホームページ上で、消費者及び施工構成員が各自のID・パスワードで情報の確認ができる。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定期点検は、既存住宅状況調査技術者の資格を有した者が参加して点検する。	○
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・会員が経験した各種の補修方法をマニュアルとしてまとめる作業に入る。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅履歴情報システムの中で点検・補修の実施計画及び補修履歴が確認できる。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局で勉強会を企画する。(年2回程度)	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・会員の合同イベント等で消費者を対象に木工教室等を実施する。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・総合展示会(メーカー・商社)に参加し、住まいの相談会を実施する。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工部会と事務局が連携し、構成員向けの研修会を実施する。(年1回)	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・点検及び補修の履歴をもとに、今後の維持管理の方法を検討する。	○
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が「家守り」を引継げる会員工務店を紹介し、維持管理を確実に継承する。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局で勉強会を企画する。(年2回程度)	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 ・各種のイベントに積極的に参加し、グループの地域型住宅をPRする。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心となり、未経験工務店向けの講習会を開催し技術の習得を図る。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループが建てる住宅は、劣化対策等級2以上とする。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・ホウ酸による外部構造躯体の防腐防蟻がされているか確認する。(保証書の発行)	◎
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工構成員の受注状況を集約した情報を製材構成員に定期的に発信する。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・省エネ義務化に備え、年2回程度の講習会を開催する。(サッシ・断熱・省エネ機器のメーカー)	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・設計及び施工構成員は、外皮計算・一次エネルギー計算が出来る様に習得する。	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 46 今年度の参加目標人数 5 施工構成員の中で講習会に参加していない会社より参加	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 18 今年度の参加目標人数 10 現場に入る各種の請負技能者に講習会を案内する。	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・未受講者には、事務局から開催日を案内して参加を促す。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・高性能サッシ・高性能断熱材の導入に向けて勉強会を開催する。	◎
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・現在は検討していません。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 ・事務局が中心となり、BELS制度の勉強会を実施する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長崎のすて木な家	(地域型住宅供給対象地域) 長崎県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 長崎すて木な家づくりの会	(結成年) 2010年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0106-0732	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a		◎、○ 記入欄
① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	・使用する優先順位、①九州地域材 ②国産材 ③合法木材(国外:米松) ・製材工場を明確にして安定供給を図る。	◎
② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	
③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明		
b		
①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・木材の標準化に取り組み、プレカット工場に一定数量の在庫をしながら安定供給を図っている。	◎
①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・プレカット工場が製材所との間で3ヶ月~6か月単位で価格を決定している。	◎
② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・事務局が会員の物件情報を入手する事で、地域材の使用量を予測して製材メーカーに情報を伝えている。	○
c		
①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・グループとしての決め事はありませんが、施工構成員の標準仕様の範囲で推奨をお願いします。	
①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・同上	
①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・同上	
①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・同上	
②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・同上	
②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・同上	
d		
① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・標準仕様の中で土台は長崎県産材を指定していますが、柱・母屋等にも長崎県産材を積極的に推奨していきます。 ・長崎県林政課に協力頂き、イベント等で消費者に県産材の広報活動を実施します。	○
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
東日本大震災の復興に資する取組	・特にありません。	
平成28年熊本地震の復興に資する取組	・熊本工務店ネットワーク(全木協の会員団体)の応援依頼で、阿蘇市黒川仮設団地の建設工事にグループの構成員が断熱施工で参加させて頂きました。今後も復興住宅等の建設工事で参加出来ればと思います。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長崎のすて木な家	(地域型住宅供給対象地域) 長崎県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 長崎すて木な家づくりの会	(結成年) 2010年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0106-0732	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

長崎のすて木な家

**太陽光発電**  
太陽電池モジュールのセル実効変換効率が高いほうが望ましい

**蓄電池**  
インバータ、コンバータ、パワーコンディショナなど、電力変換装置を備えたシステムとして一体的に構成されたもの

太陽光発電システム

**エアコン (高効率型)**  
主たる居室に設置する個別のエアコンのエネルギー消費効率、建築研究所のホームページで公開されている冷房効率区分(i)を満たす機種であること。  
([http://www.kenken.go.jp/becc/documents/house/4-3\\_20140117.pdf](http://www.kenken.go.jp/becc/documents/house/4-3_20140117.pdf)の表A.2参照)

高効率エアコン

**照明器具 (LED)**  
一定の基準・安全性に準拠すること  
(一社)日本照明工業会指針、電気用品安全法PSEマークなど

LED照明設備

**換気設備**  
①ダクト式換気設備:  
顕熱交換効率が65%以上または、DCモータで動くタイプ  
②壁付けファン:  
消費電力量が0.2W/(m<sup>3</sup>/h)以下のもの

換気設備

**エネルギー計測 (HEMS 見える化装置)**  
住宅の総エネルギー消費量、各機器の用途別使用量、太陽光発電の発電量などエネルギー利用状況を表示可能な機器

スマートHEMS(ヘムス)

**節湯型水栓 (キッチン・バスルーム)**

エコキュート

**給湯設備 (ヒートポンプ式電気温水器)**  
JIS基準 (JIS C 9220) に基づく年間給湯保温効率または年間給湯効率が3.0以上。ただし、寒冷地(1・2・3地域)の場合は2.7以上であること

エコキュート

断熱性能

※一例です。

省エネと再生エネ導入で消費エネルギーを実質ゼロに



**BELS** Building-Housing Energy-efficiency Labeling System

建築省エネルギー性能表示制度

この住宅の 省エネ率 12% (削減)

2010年10月30日交付  
国土交通省告示に基づく第三者認証(評価機関名)

ゼッチ

**ZEH**

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス  
認定ビルダー

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。